

平成27年度

丹沢大山ボランティアネットワーク  
活動報告書

# 目 次

## 丹沢大山ボランティアネットワーク事業報告

- 1 水質調査
- 2 夏休み親子自然探検隊

## 会員団体活動掲示板

神奈川県勤労者山岳連盟  
横浜わらび山の会  
神奈川県山岳連盟  
NPO法人神奈川県自然保護協会  
神ノ川ヒュッテ管理委員会  
NPO法人北丹沢山岳センター  
山綾会  
NPO法人四十八瀬川自然村  
NPO法人丹沢森の仲間たち  
丹沢けものみちネットワーク  
NPO法人丹沢自然保護協会  
丹沢ブナ党  
西丹沢の自然にふれあう会  
蛭ヶ岳山荘委員会  
NPO法人野生動物救護獣医師協会神奈川支部  
かながわ野生動物サポートネットワーク  
町田グlaus山の会  
NPO法人伊勢原森林里山研究会  
NPO法人神奈川ウォーター・ネットワーク  
NPO法人丹沢自然学校  
NPO法人野生動物救護の会  
NPO法人足柄丹沢の郷ネットワーク  
湘南自然観察クラブ  
伊勢原の自然と環境を守る会

## 世話人会の活動報告

# 事業報告

平成27年度水質調査結果一覧 < 上段:検査項目 中段:単位 下段:水質基準(参考)>

| 調査地点          | 採水日   | 一般細菌                  |             | 大腸菌        |          | 亜硝酸態窒素    |         | 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 |      | 塩化物イオン |       | 有機物 |      | pH値 | 味  | 臭気  | 色度    | 濁度  | 水場周辺の状況 |    |    | 気象の状況    |      |    |
|---------------|-------|-----------------------|-------------|------------|----------|-----------|---------|---------------|------|--------|-------|-----|------|-----|----|-----|-------|-----|---------|----|----|----------|------|----|
|               |       | CFU/ml                | -           | mg/l       | -        | mg/l      | -       | mg/l          | -    | mg/l   | -     | 度   | 度    |     |    |     |       |     | 度       | 度  | 度  |          | 度    | 度  |
|               |       | 100CFU/ml以下           | 検出されな<br>こと | 0.04mg/l以下 | 10mg/l以下 | 200mg/l以下 | 3mg/l以下 | 58以上86以下      | 2度以下 |        |       |     |      |     |    |     |       |     |         |    |    | 天候<br>当日 | 気温   | 水温 |
| 1 半原越付近       | 5月6日  | 6                     | 不検出         | 0.004未満    | 0.7      | 2.1       | 0.3未満   | 7.8           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | 取水口 | なし      | なし | 晴れ | 10       | 10.5 |    |
| 2 日向林道起点水場    | 5月22日 | 3                     | 不検出         | 0.004未満    | 0.9      | 2.1       | 0.3未満   | 7.2           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | 取水口 | なし      | なし | 曇り | 21.2     | 15   |    |
| 3 護摩屋敷跡       | 5月8日  | 0                     | 不検出         | 0.004未満    | 0.9      | 1.5       | 0.3未満   | 7.5           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | あり  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | 取水口 | なし      | なし | 晴れ | 25       | 10   |    |
| 4 堂平沢         | 5月13日 | 1.4 × 10 <sup>2</sup> | 検出          | 0.004未満    | 0.2      | 1.0       | 0.6     | 7.6           | 正常   | 4      | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 4   | 0.5未満 | なし  | なし      | なし | 晴れ | 28       | 10.5 |    |
| 5 原小屋平水場      | 5月9日  | 0                     | 不検出         | 0.004未満    | 0.3      | 0.7       | 0.3未満   | 7.5           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | なし  | なし      | なし | 曇り | 12       | 9    |    |
| 6 黍嶽山避難小屋     | 5月4日  | 0                     | 不検出         | 0.004未満    | 0.6      | 1.1       | 0.3未満   | 7.3           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | 取水口 | なし      | なし | 晴れ | 15       | 10   |    |
| 7 大山 弘法の水場    | 5月16日 | 1.0 × 10              | 検出          | 0.004未満    | 0.8      | 2.5       | 0.3未満   | 7.8           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | 取水口 | なし      | なし | 曇り | 26       | 10.5 |    |
| 8 春嶽湧水        | 5月8日  | 0                     | 不検出         | 0.004未満    | 0.7      | 1.9       | 0.3未満   | 7.4           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | 取水口 | なし      | なし | 晴れ | 25       | 10.5 |    |
| 9 葛葉の泉        | 5月6日  | 1.8 × 10 <sup>2</sup> | 不検出         | 0.004未満    | 0.7      | 2.3       | 0.3未満   | 8.0           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | なし  | なし      | なし | 晴れ | 21       | 15   |    |
| 10 竜神の泉       | 5月6日  | 1                     | 不検出         | 0.004未満    | 0.9      | 2.2       | 0.3未満   | 7.7           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | なし  | なし      | なし | 晴れ | 21       | 15.5 |    |
| 11 後沢春越水場     | 5月30日 | 9                     | 検出          | 0.004未満    | 0.5      | 1.5       | 0.3未満   | 7.8           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | なし  | なし      | なし | 晴れ | 21       | 13   |    |
| 12 二俣の水場      | 5月30日 | 1.5 × 10              | 検出          | 0.004未満    | 0.4      | 1.5       | 0.3未満   | 7.8           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | なし  | なし      | なし | 晴れ | 24       | 16   |    |
| 13 大倉高原山の家水場  | 5月30日 | 3                     | 不検出         | 0.004未満    | 0.6      | 1.9       | 0.5     | 7.6           | 正常   | 3      | 0.5未満 | なし  | なし   | あり  | 正常 | 3   | 0.5未満 | 取水口 | なし      | なし | 晴れ | 33       | 21   |    |
| 14 塔ノ岳水場      | 5月30日 | 0                     | 不検出         | 0.004未満    | 0.1未満    | 1.3       | 0.3未満   | 7.4           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | あり  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | 取水口 | なし      | なし | 晴れ | 21       | 15   |    |
| 15 皆瀬川入道      | 4月24日 | 3.3 × 10              | 検出          | 0.004未満    | 0.8      | 3.0       | 0.3未満   | 7.9           | 正常   | 2      | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 2   | 0.5未満 | なし  | なし      | なし | 晴れ | 22       | 15.1 |    |
| 16 西丹沢農民の森    | 5月11日 | 8                     | 検出          | 0.004未満    | 0.7      | 1.2       | 0.3未満   | 7.5           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | あり  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | 取水口 | なし      | なし | 晴れ | 18       | 13   |    |
| 17 仲ノ沢洗面湧水    | 5月11日 | 0                     | 不検出         | 0.004未満    | 0.7      | 1.3       | 0.3未満   | 8.2           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | 取水口 | なし      | なし | 晴れ | 21       | 13   |    |
| 18 用木沢出合      | 5月22日 | 1.3 × 10              | 検出          | 0.004未満    | 0.5      | 0.9       | 0.5     | 7.4           | 正常   | 2      | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 2   | 0.5未満 | なし  | なし      | なし | 曇り | 17       | 13   |    |
| 19 一軒屋避難小屋前水場 | 5月22日 | 1.2 × 10              | 検出          | 0.004未満    | 0.4      | 1.0       | 0.4     | 7.2           | 正常   | 1      | 0.5未満 | なし  | 少々あり | なし  | 正常 | 1   | 0.5未満 | なし  | なし      | なし | 曇り | 16       | 12   |    |
| 20 犬越路すい道水場   | 5月18日 | 3                     | 不検出         | 0.004未満    | 0.2      | 1.2       | 0.3未満   | 7.8           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | 取水口 | なし      | なし | 曇り | 20       | 1    |    |
| 21 犬越路 日陰沢    | 5月7日  | 2.6 × 10              | 不検出         | 0.004未満    | 0.5      | 1.1       | 0.3未満   | 7.5           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | 取水口 | なし      | なし | 晴れ | 20       | 13   |    |
| 22 エビラ沢出合     | 5月7日  | 2                     | 不検出         | 0.004未満    | 0.4      | 1.0       | 0.3未満   | 7.7           | 正常   | 1未満    | 0.5未満 | なし  | なし   | なし  | 正常 | 1未満 | 0.5未満 | 取水口 | なし      | なし | 晴れ | 22       | 17   |    |

大腸菌が検出されたため、味の検査は不可

# 夏休み親子自然探検隊 (2015 年度)

報告者 丹沢 大山ボランティアネットワーク  
世話人会 副代表 小林 昭五

## 「夏休み親子自然探検隊」成果をあげて無事に終わる。

県民の皆様へ2015年7月26(日)「夏休み親子自然探検隊」が、大きな事故もなく、成果をあげて無事終了したことを報告いたします。

### 1 本行事の成果

- (1) 夏休みに家庭に戻った子供達が保護者やボランティアの大人達と丹沢の大自然の中で開放され、楽しみながら交流ができました。
- (2) 日常では経験できない川遊び(川の遡上、堰堤での飛び込み、ブランコ、水遊びなど)ができました。



### ふるさと交流館で今日の予定や丹沢などについて学ぶ

- (3) 神奈川県、そして私達の大切な自然遺産である丹沢の自然やその成り立ちなどについて、体験を通して、五感を通して学習ができました。
- (4) 特に座学と野外学習を通して、南海で生まれた珊瑚化石を目で見、手で触ったこと、ロマンがある「南の海の火山島が日本列島にやって来た」ことを体験学習ができました。

7月2日(木)(準備)、7月24日(金)(準備)、7月26日(日)(当日)

本行事を成功させるため、大勢のボランティアスタッフが準備に参加しました。又本番早朝よりロープ張り、会場準備、新松田駅受付など様々な持ち場で活躍しました。

このような大勢のボランティアにより、行事が支えられている事を子供達など参加者が知ること、大切な事と思います。スタッフの皆様お疲れ様でした。感謝を申し上げます。



### 2 準備作業の様子

コースの清掃活動 ビニール袋、紐、紙くず、衣類やロープの切れ端、土嚢袋、ペットボトルなど拾いました。特に金属類等は怪我などの原因になりますので、丁寧にひろいました。

- (1) 自然探検コースを鎌やスコップなどで整備をしました。  
夏草や木が被い茂っているため、低学年の子供もいますから、トゲなどで怪我などしないように刈り取りました。

### 自然探検コースの整備清掃の様子

自然観察路なので、ただむやみに刈るのではなく、自然観察活動を考慮して作業を行いました。危険なスズメバチなど、はち類など飛んでいないか注意をしました。滑りやすい場所には滑り止めの階段などをつけました。

- (2) 道路に上がるところには、木製階段をつきました。大がかりな作業です。  
これは、ほんとに職人の仕事です。
- (3) 堰堤では、子供達が飛び込んだとき怪我ないように滝壺の大きな石を取り除きました。又水深を深くするように、川の流れを止める堤防をつくりました。  
子供達が楽しく遊ぶため、流れの上にブランコをつくりました。  
昼食場所をきれいにするため、ごみ拾いやトイレ清掃などもしました。
- (4) ふるさと交流館では、解りやすい展示や清掃など参加者を迎える準備をしました。  
ここに掲げた準備以外に、参加者達に「参加して良かった！」と思えるように、それぞれのスタッフが、創意工夫をして準備をしました。  
本当にボランティアスタッフの皆様有り難う御座いました。子供達に見せたかったです。



木製の階段づくり



興味関心を引く工夫した展示

### 3 当日の様子 新松田駅～ふるさと交流館～皆瀬川探検学習

小田急新松田駅集合です。予定通りの参加者とスタッフが二台のマイクロバスでふるさと交流館へ向かって出発しました。いよいよ「夏休み自然親子探検隊」が始まりました。今日は丹沢の夏らしい良い天気です。歩くのは暑くて大変だが、水遊びには最適です。熱中症や事故に気をつけて、新しい自分を見つけ、新しい事への探検に挑戦しましょう！

#### (1) ふるさと交流館



開講式 スタッフ紹介 今日の予定 注意事項 紙芝居 丹沢の成り立ちの話がありました。

子供達は未知への探検に目を輝かせ、指導者の門田先生の話に耳を傾けていました。何にでも興味を持ち、質問する子もいます。それが和やかな雰囲気をつくっていました。

左写真 門田先生の丹沢のお話

子供を引きつける解りやすい講義です。

#### (2) マイクロバス、スタッフ車はいよいよ皆瀬川に到着です。

草刈りや整備した観察道を川原に下り、気持ち良く川の中に入り地層の境目、断層の接触面の観察です。

子供達は湧水を含んだ黒っぽい粘土をおそろおそろ手に触りました。ビニール入れてもって帰る子もいました。

左写真 神縄断層へ向かう参加者



有名な神縄断層です。丹沢層群の下に、より新しい足柄層群が潜り込んでいる断層です。

講師の門田先生は、野外説明用ボードを使用して解りやすく説明して下さいました。

(3) 川原や川の中で化石探しです。化石は緑色凝灰岩ではなく、石灰岩の中に含まれています。石灰岩は見つかるが、化石が含まれているかを見つけるのが大変です。 **右写真 神縄断層面**



ここではスタッフの先生方に子供達や保護者の方が、石を持って教えを頂く場面が数多く見られました。発見探検の意欲に溢れていました。

**右写真 石灰岩 化石探し**



#### 4 堰堤での昼食～川遊び

川から、準備で整備した急な崖道を登り林道に上がりました。ここからバスで堰堤に到着しました。

昼食です。暑い中体力の要る探検を長時間したので、お腹が空きました。皆さん賑やかに食事をしていました。ごちそうさます



**競い合い飛び込んでいます！**



**夢中になり水遊び**



**ブランコ遊び**

さあー、自由時間、川遊びの時間です！！

石をひっくり返して生き物を探す子もいます。

元気な子達は、堰堤から飛び降り始めました。最初はおそろおそろ。そのうち元気いっぱい。

大胆に飛び込みました！ 皆で飛び込みました！！

女の子達は、濡れながら川の上のブランコで遊んでいます。

ほんとに楽しい自然冒険探検活動です！！

スタッフは冒険の手伝いと事故のないよう見守りをしました。

#### 5 堰堤～アオサゴ化石が含まれた巨大岩石見学

午後の探検活動です。二つの班に分かれバスで出発。石灰岩の説明看板のところで説明を受けました。

**右写真 ネフロレピディナを含む石灰岩の説明板**





最後の石灰岩の化石探しです。化石を採集しても良いのはここまでです。ここより上流は禁止区域になっています。この事も子供達にとっては自然保護の勉強です。

そして川を遡上し、いよいよ熱帯の火山と付近で生まれたアオサンゴ化石を含んだ巨大岩石群の見学です。

この巨大岩石は台風洪水などで埋もれ、再び大勢の人々の手で保存された大切な自然遺産です。

大事に観察学習をしましょう。アオサンゴ化石、キクメイシサンゴ化石など見られます。熱帯地方で生まれたサンゴ化石が発見できます。

子供達、参加者達は巨大岩石に含まれる化石を、目を輝かせて探していました。

最後の林道への登りです。ロープに掴まり登りきりました。冒険で楽しかったです。

林道途中、スタッフが整備した地層から流れ出る湧水場所で、湧水を飲み、足、靴、顔を洗いました。これまた初めての、素晴らしい経験でした。



**上写真 サンゴ化石を探す子供達とサンゴ化石を含んだ巨大岩石**

## 6 再びふるさと交流館へ

今日のふりかえり学習です。この行事の次への発展のためアンケート記入なども行われました。子供達は暑さの中、たくさん探検し、たくさん遊び、たくさん学習したため、へとへとに疲れた様子です。それでも最後まで頑張りました。

今日は子供達を中心にして、私たち神奈川県民の自然遺産「丹沢」を十分に探検しました。この子供達が将来、「夏休み親子自然探検隊」の体験がきっかけになり、ますます丹沢の自然に興味を持って頂ければ良いです。

そして次世代に、「豊かな丹沢」を引き継いでいけることを願っています。

**右写真 立派です**

**疲れているが門田先生の話、顔上げて真剣に聞いた**



**疲れ満足した参加者達の様子**



## 7 再びマイクロバスに乗り新松田駅へ

今日は丹沢の自然に関心のある、野外活動に興味ある子供達、保護者とスタッフとして交流を深めました。子供達も精一杯活動をし、勝手な判断だが、満足して電車に乗られたと思えます。一人ひとりの参加者にお礼を言われ、気持ちよい解散が出来ました。

今日の活動を反省し、新たな発展を模索し、次の活動へのステップとしたいものです。

今日はお疲れ様でした。

**右写真 思い出に残る川原での化石探し**



## 會員団体活動揭示板

|           |   |
|-----------|---|
| 団体名称      | 神奈川県勤労者山岳連盟   |
|           | <p>国民の登山要求の高まりの中で登山界の大衆化と遭難の一掃という方針を掲げて、1968年に結成。登山が自然をフィールドとするスポーツである以上、常に自然との共存共生や遭難事故防止の課題を伴っている。私たちは自らの登山技術や知識を高める、仲間を迎え入れ、登山活動の一層の充実と発展を図る。</p> <p>【設立年月日】1968年</p>  |
| 団体情報      | <p>【代表者】渡辺 三男</p> <p>【会員数】640名</p> <p>【ホームページ】<a href="http://www.k-rouzan.net/">http://www.k-rouzan.net/</a></p>   |
| 活動内<br>(容 | <p>1. <u>第38回「2015年 丹沢クリーンハイク」の実施</u></p> <p>実施日 2015年5月31日(日) 表丹沢、西丹沢</p> <p>参加者 250名(会員、一般、大学WVからの参加もあり)で、ゴミ 129回収。最近は登山道のゴミはなくなり、クリーンハイクの方向性を模索しているが、ここ数年は20年以上継続している「水質調査」と登山道整備などの活動も併せて実施している。</p> <p><u>東丹沢、沢・水場の「水質調査」実施</u></p> <p>実施日 2015年5月30日(土)水無川本谷、塔ノ岳水場等17か所</p> <p>参加者 24名(6会)で、後沢乗越水場、葛葉の泉等で大腸菌が検出された。</p> <p>登山道整備は大倉尾根、表尾根の2か所で実施。30名参加</p> <p>2. <u>東日本大震災復興支援活動</u></p> <p>2011年3月の大震災以降、2011年よりボランティア活動を継続している。</p> <p><u>福島の子どものための保養プログラムを実施</u></p> <p>実施日 2015年7月30日～8月1日 YMCA三浦ふれあいの村</p> <p>福島県南相馬市の小学生21名、ボランティア42名でカヌーや水泳を行い、震災以降海の自然から遠ざかっていた子供たちの要求を実現。</p> <p><u>第5回東日本震災ボランティアの実施</u></p> <p>実施日 2015年10月10日～12日 宮城県石巻</p> <p>22名参加。ボランティアが初めてという参加者が多いので、まず、被災地の視察を行い、ボランティア活動は金華山のハイキングロードの修復を行った。また、被災された方との交流会も貴重な経験で、来年も実施の約束を交わす。</p> |
| 連絡先       | <p>【担当者】</p> <p>【住所】〒221-0833 横浜市神奈川区西神奈川 1-18-2 永田ビル3階</p> <p>【電話】045-434-2726</p> <p>【FAX】同上</p> <p>【メール】<a href="http://www.k-rouzan.net/">http://www.k-rouzan.net/</a></p>  |

|      |   |
|------|---|
| 団体名称 | 横浜わらび山の会  |
| 設立目的 | <p>自然を通じて会員相互の親睦をはかり、「生涯登山」を合言葉に楽しい山歩きやハイキングを目的としています。日帰り山行は元より、夏の山行、街中ハイキングから神社、仏閣巡り、温泉、花巡り、また清掃登山や障害者登山への積極的参加などを通して、自然を愛し、自然保護に力を入れ、自然と親しみながら、「和やかに」「楽しく」「美しく」、いつまでも元気でいられるよう行動しています。会名「わらび」は、理念のなかの「和やかに」「楽しく」「美しく」の和・楽・美を合わせて「わらび」と命名しました。</p> <p>【設立年月日】1990年3月</p> |
| 団体情報 | <p>【代表者】西本嘉子 総務部（三瓶英雄、小沼千春、長谷川隆）</p> <p>【会員数】38名（2016年2月7日現在）</p> <p>【ホームページ】<a href="http://warabi.la.coocan.jp/">http://warabi.la.coocan.jp/</a></p>  |
|      | <p>5月17日：森林再生環境登山 3名参加<br/>二ノ塔南尾根<br/>植栽とネット補修</p>  <p>10月18日：ウラジロモミネット補修 3名参加<br/>東丹沢天王寺尾根</p>    |
|      | 【担当者】長谷川 隆  |
|      | 【住所】  |
|      | 【電話】  |
|      | 【FAX】   |
|      | 【メール】   |

|      |   |
|------|---|
| 団体名称 | 神奈川県山岳連盟  |
| 設立目的 | <p>神奈川県山岳連盟は、登山を指導普及し、その健全な発展を図り、あわせて会員の親睦・交流と、自然愛護の精神を高揚することを目的としている。</p> <p>【設立年月日】昭和 29 年 4 月 4 日</p>  |
| 団体情報 | <p>【代表者】岡本 安夫</p> <p>【会員数】 17 協会、80 団体、2200 名</p> <p>【ホームページ】<a href="http://www.kanagawa-gakuren.gr.jp/">http://www.kanagawa-gakuren.gr.jp/</a></p>  |
| 活動内容 | <p>神奈川県山岳連盟は、県下各地の市町村の山岳協会や大学山岳連盟・高等学校体育連盟登山専門部からなる 17 の団体を統括している。そして、競技登山（スポーツクライミングなど）、卓越登山（エキスペディション）から健康登山（ハイキング、トレッキング）と幅広い登山ジャンルのなか、安全普及（指導者養成・ジュニア養成）、遭難対策（セルフレスキュー、グループレスキュー）、環境保全（山岳自然保護）などの活動を行っている。</p> <p>指導者養成では、公益財団法人日本体育協会の認定するスポーツ指導者の専門教育（山岳部門）を担っているとともに、環境省自然公園指導員や公益社団法人日本山岳協会公認の自然保護指導員の養成（山の自然セミナーなど）を行っており、丹沢山塊を始め国内山岳における指導や普及・啓もう活動にあたっている。</p> <p>主な環境保全活動としては、丹沢大山クリピア 2 1 への参加のほか、ニノ塔での丹沢野緑を育む実行委員会ボランティア活動、宮ヶ瀬湖畔煤ヶ谷水源林での県民協働での森林づくり活動実行委員会の定着型ボランティア活動に参加し、自然再生に向けた植樹や山林整備を行っている。</p> |
| 連絡先  | <p>【担当者】松隈 豊</p> <p>【住 所】</p> <p>【電 話】</p> <p>【 F A X 】</p> <p>【メール】<a href="mailto:matsumobi@nifty.com">matsumobi@nifty.com</a></p>  |

|      |  |
|------|--|
| 団体名称 | NPO 法人神奈川県自然保護協会   |
| 設立目的 | 神奈川県の自然の保護及び神奈川県民の自然保護意識の向上に寄与すること<br>【設立年月日】1965年10月1日、2004年6月1日（NPO法人格取得）  |
| 団体情報 | 【代表者】藤崎英輔<br>【会員数】170（個人・団体）<br>【ホームページ】 <a href="http://www.eco-kana.org">http://www.eco-kana.org</a>   |
| 活動内容 | <p>(1) 自然保護に関する普及啓発事業</p> <p>ア シンポジウム・講演会開催事業 講演会(6/14)神奈川の生物多様性ホットスポット選定 会場 県歴博</p> <p>イ 自然観察会<br/>地形・地質見学会（2016.3月）足柄山地と平野</p> <p>ウ 創立50周年記念事業<br/>展示(10/12,13) 会場 新都市プラザ（横浜駅東口そごう前）<br/>神奈川県自然保護協会の50年史<br/>神奈川の自然の特色と生物多様性ホットスポット<br/>外来生物問題啓発<br/>各地で活動する自然保護団体<br/>講演と活動発表会(10/17) 会場 かながわLプラザ<br/>神奈川県自然保護協会50年史<br/>各地で活動する自然保護団体活動発表<br/>シンポジウム(11/14) 神奈川の生物多様性ホットスポット 会場フジサワ名店ビルイベントホール</p> <p>エ 厚木市生物多様性地域戦略事業協働 自然のめぐみに触れるエコツアー<br/>川のめぐみ（4月）<br/>里のめぐみ（8月）</p> <p>(2) 広報・刊行事業</p> <p>ア 情報紙発行事業 情報紙「ニュースレター」発行 年5回</p> <p>ウ ホームページの運営</p> <p>エ 啓発ブース出展<br/>横浜象の鼻パーク(5/30,31) アジェンダの日イベント<br/>厚木中央公園(10/25) 厚木市環境フェア</p> <p>(3) 他の団体等との協働・連携や支援に係わる活動</p> <p>ア さがみ自然フォーラム開催(2/11-15) 会場 アミューあつぎ アートギャラリー他 厚木市共催<br/>企画展「野生動物とのどう付きあうか」「神奈川の生物多様性ホットスポット」<br/>自然保護団体ポスター展示 ポスターセッションによる交流 21団体参加<br/>講演会 神奈川・県央の野鳥たち（日鳥連 藤井氏）<br/>動物の鳴きまねから自然を学ぶ（四代目江戸家猫八氏）<br/>学校環境活動発表 他</p> <p>イ 他団体等行事の後援</p> <p>(4) 県内自然の諸問題に対する調査・研究<br/>・神奈川県内自然ホットスポットプロジェクト</p> <p>(5) 行政への働きかけ・協働<br/>神奈川県環境審議会委員派遣 水源環境保全再生県民会議委員 丹沢大山保全再生委員会委員他</p> |
| 連絡先  | 【担当者】青砥航次  |
|      | 【住所】厚木市林 5 - 1 5 - 1 0   |
|      | 【電話】   |
|      | 【FAX】  |
|      | 【メール】 <a href="mailto:nacs-kana-office01@eco-kana.org">nacs-kana-office01@eco-kana.org</a>   |

## 行事のようす



象の鼻パーク 外来種ブース出展 ゼリガニが人気



里のめぐみ 川の自然観察



里のめぐみ めぐみのごちそう



新都市プラザ 展示の様子



厚木市環境フェア 展示の様子



ホットスポットシンポジウム



さがみ自然フォーラム  
左 企画展  
「野生動物とどう付きあうか」  
右 展示風景

|      |   |
|------|---|
| 団体名称 | 神ノ川ヒュッテ管理委員会  |
| 設立目的 | <p>山岳愛好者を中心とする一般公衆に対して、北丹沢地域の山岳活動に関する事業を行い、もって環境保護・スポーツ振興・災害救助に寄与することを目的とする。</p> <p>自然保護活動（広河原植林事業、東海自然歩道監視、整備等）の基地及び山岳スポーツ（トレイルレース）の基地として活動している。</p> <p>【設立年月日】 1993年 4月 1日</p>  |
| 団体情報 | <p>【代表者】杉本 憲昭</p> <p>【会員数】80名</p> <p>【ホームページ】<a href="http://kitatan.com/kantop">http://kitatan.com/kantop</a></p>  |
| 活動内容 | <p>4月13日 丹沢神の川流域山開き折花姫神社・本祭行事<br/>東海自然歩道・日陰沢新道のゴミの収集活動</p> <p>6月7日 国道20号線クリーン活動</p> <p>7月5日 北丹沢12H山岳耐久レースの協力・第一関門及び第二関門</p> <p>8月1～31日 神の川周辺登山道清掃及び点検活動</p> <p>11月23日<br/>広河原での植林活動（主に下草刈り）<br/>植林地での鹿柵補修活動</p> <p>活動場所 北丹沢山域（特に神の川、広河原、鐘撞山を中心とした地域）<br/>神の川ヒュッテ友の会会長 加藤 博恵</p> |
| 連絡先  | <p>【担当者】杉本 憲昭</p> <p>【住所】相模原市緑区小淵1545-1</p> <p>【電話】042-687-4011</p> <p>【FAX】042-687-3980</p> <p>【メール】kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp</p>  |



|      |   |
|------|---|
| 団体名称 | N P O 法人北丹沢山岳センター   |
| 設立目的 | 藤野町牧野財産管理会の委託を受け、健全なヒュッテの経営を行う。<br>山岳愛好者を中心とする一般公衆に対して、北丹沢地域の山岳活動に関する事業を行い、もって環境保護・スポーツ振興・災害救助に寄与することを目的とする。<br>【設立年月日】 2003年4月11日  |
| 団体情報 | 【代表者】杉本 憲昭<br>【会員数】運営委員会40名 10団体 600名<br>【ホームページ】 <a href="http://kitatan.com/">http://kitatan.com/</a>   |
| 活動内容 | 4月5日 国道20号線クリーン活動<br>4月12日 北丹沢神の川流域山開き・折花姫神社での本祭行事<br>6月7日 国道20号線クリーン活動<br>7月5日 北丹沢12h山岳耐久レースへの協力<br>8月22日 神の川周辺登山道の清掃・点検活動<br>11月8日 陣馬山トレイルレースへの協力<br>11月23日 広河原での植林活動・シカ柵補修<br>12月 東丹沢早戸川水源の森清掃<br><br>活動場所 北丹沢山域（特に神の川、広河原、蛭ヶ岳、姫次を中心とした地域） |
| 連絡先  | 【担当者】杉本 憲昭<br>【住所】相模原市緑区小淵1545-1<br>【電話】042-687-4011<br>【FAX】042-687-3980<br>【メール】kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp   |

## 国道20号線吉野花だまり周辺のクリーン活動

600キロ以上収集する

藤野山岳会（協会）恒例の国道20号線吉野花だまり周辺クリーン活動は

12名の会員により行われました。

吉野花だまりは今回不法投棄が多く、缶・ビン・コンビニの弁当容器の投棄、特にペットボトルのゴミが目立ちました。また驚いた事に駐車場内は人糞が各所にあり、タバコの吸殻も多く捨てられ、これまで見られなかったエチケットの悪さはますますエスカレートの一途を辿る印象を受けました。

勿論、季節柄枯れ草や落ち葉も道路を埋め尽くしており、大袋に30袋程にもなり、それ以外にも投棄物もありました。

駐車場を利用される多くの方々、我が家をきれいにしているように駐車場も利用して下さい。特に大型長距離の運転手さん、マナーを守ってください。



## 神の川流域広河原で植林地内の下草刈り

11月23日（祝）に実施する

恒例の神の川流域の広河原の植林地で今年も下草刈りが実施されました。会員の多くは各イベント等が重なってしまい例年より参加者は少なめでしたが、十数名で予定通り行われました。

現在、神の川林道のゲート先から広河原までの間は、落石避けの防災の金網設置工事が日曜日を除く月～土曜日まで全面交通止めで行われており、時間も限られた中での実施となりました。

次回は残された作業を行うため、春先に実施を計画します。



神の川ヒュッテ前にて 会員の皆さんと

|      |  |
|------|--|
| 団体名称 | 山綾会  |
| 設立目的 | 「生涯登山」を合言葉に、中高年の健全な登山、ハイキングを行うことにより、会員の健康増進と相互の親睦を図ることを目的としています。<br>【設立年月日】平成4年10月1日   |
| 団体情報 | 【代表者】彦坂 弘明<br>【会員数】94名（平成28年1月17日現在） 男性27名、女子67名<br>【ホームページ】 <a href="http://sanryokai1992.wed.fc2.com">http://sanryokai1992.wed.fc2.com</a>   |
| 活動内容 | 平成27年度活動は計画にたいして、実施が天候不良その他自然災害など多くの要因で、中止がありましたが、58回の計画に対して48回の実施ができました。<br>その中で、例年実施のクリーンピヤー活動を11月3日大山清掃又綾瀬市市民の方に安全登山講習と美化運動の啓発を実施いたしました。<br>例年の市文化展に写真部門で参加と今年も多くの会員の参加をいただき実施できました。<br>最近の中高年が登山での事故報道をうけて、会では一層の安全登山を目指すべき、啓発を実施いたしました。 |
| 連絡先  | 【担当者】村上 紀央<br>【住 所】<br>【電 話】<br>【F A X】<br>【メール】   |

|      |   |
|------|---|
| 団体名称 | NPO 法人四十八瀬川自然村  |
| 設立目的 | 四十八瀬川流域の原風景と、ホタルの棲める環境をまもる。<br>【設立年月日】2001年9月 秦野市民15名で「四十八瀬川自然村」を設立。<br>2007年5月 NPO 法人認可、登録   |
| 団体情報 | 【代表者】<br>【会員数】村民75名(男性59名・女性16名)・高齢者多数<br>【ホームページ】48se-mura.com   |
| 活動内容 | 豊かな里山の自然環境を後世に引き継ぐため、荒廃化した水田・農地・里山の整備にと活動を続ける。又河川活動では県の絶滅危惧種の「カジカ」の定点調査やホタル生息地の整備等に取り組んでいる。ホタル鑑賞会や、各イベントに参加普及啓発に努めている。ほか酒米の栽培から振舞い酒を行う(秦野どぶろく祭り)を毎年行っている。 |
| 連絡先  | 【担当者】小野 均   |
|      | 【住 所】   |
|      | 【電 話】   |
|      | 【F A X】   |
|      | 【メール】 <a href="mailto:hi_ono@hotmail.co.jp">hi_ono@hotmail.co.jp</a>  |

|      |   |
|------|---|
| 団体名称 | NPO 法人丹沢森の仲間たち  |
| 設立目的 | 森林・林業の持続的利用と森林環境の保全活動に関する事業を行い、地球環境の保全に寄与する。<br>【設立年月日】平成 18 年 1 月 16 日   |
| 団体情報 | 【代表者】加藤 逸平<br>【会員数】20 名<br>【ホームページ】 <a href="http://www.erch.or.jp/k-sinrin10/">http://www.erch.or.jp/k-sinrin10/</a>   |
| 活動内容 | <p>1) 月例研究会の開催<br/>活動拠点を山北町世附に置き、3月～12月の期間で2日/月活動</p> <p>2) 森林整備事業：山北町皆瀬川での雑木の伐倒と径路整備</p>   <p>3) 次を担う世代への普及啓発：森林教室での間伐体験</p>   <p>4) 環境保全団体との共同活動・支援活動</p> |
| 連絡先  | <p>【担当者】戸谷和男</p> <p>【住 所】中郡大磯町大磯 64 - 5</p> <p>【電 話】0463-61-6338</p> <p>【F A X】0463-61-6338</p> <p>【メール】totanikf@yahoo.co.jp</p>  |

|      |   |
|------|---|
| 団体名称 | 丹沢けものみちネットワーク   |
| 設立目的 | ニホンジカを始めとする丹沢の生き物の視点から丹沢の自然環境保全、再生に資するための調査、実践、普及啓発を行う。<br>【設立年月日】平成8年7月  |
| 団体情報 | 【代表者】 -<br>【会員数】 約10名<br>【ホームページ】 -   |
| 活動内容 | <p>【ニホンジカの生息密度調査】(継続調査)</p> <p>丹沢山地東部に位置する札掛において、1998年以降、毎年2回札掛地区において区画法によりシカの生息密度調査を継続的に行っており、2015年度は、4月5日、12月6日に調査を実施した。</p> <p>【生息動向調査】(継続調査)</p> <p>1998年以降シカの生息密度調査を継続的に行っているが、2007年度以降、札掛地区においても、県によるシカの管理捕獲が実施されており、部分的に林床植物の成長が見られている。</p> <p>しかしながら、当該地域のシカの生息状況の季節変動についての把握は不十分な状況であることから、2013年に自動撮影カメラを設置し、シカの撮影頻度から生息状況の季節変動に関する情報を把握した。</p> <p>【情報交換会への参加】</p> <p>丹沢自然保護協会が主催して行った丹沢調査・研究情報交換会に参加し、札掛などで調査活動を行っている団体等と情報共有を図った。</p> <p>(活動状況写真)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>センサーカメラで撮影されたシカ</p> |
| 連絡先  | <p>【担当者】岩岡</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】 tad-iwaoka@qq7.so-net.ne.jp</p>  |

|      |  |
|------|--|
| 団体名称 | NPO 法人 丹沢自然保護協会  |
| 設立目的 | 「空に鳥 森に獣 川には魚」のいる豊かな丹沢の自然環境を子供たちに残すために「今、私たちに出来ること」をテーマに保護、保全活動を行う<br>【設立年月日】1960年設立、2004年NPO法人に改組   |
| 団体情報 | 【代表者】中村 道也<br>【会員数】500名<br>【ホームページ】丹沢自然保護協会で検索してください   |
| 活動内容 | 専門的な調査・研究から街中の自然観察まで幅広く行い、自然保護思想の普及・啓発を行う。<br>【平成27年度の活動結果】<br>1、緑の再生活動<br>荒廃地や人為的影響により生じた裸地に広葉樹等の植栽を行い動物たちの生息地が孤立しないよう、緑地帯で生息域を繋ぐ緑のコリドー作りを行う。<br>27年度は丹沢・烏尾山頂の植生保護柵の中に植樹した。<br>春の植樹：実施日 5月23日（土）参加者：約100名<br>秋の植樹：実施日10月24日（土）参加者：約100名<br>2、モニタリング<br>植栽地の生育過程の調査を行い、植樹の成果・自然回復力の把握を行い、緑の再生事業の成果の向上を目指す。<br>27年度は三の塔直下ヨモギ尾根の生育状況の調査を行った。<br>春のモニタリング：実施日 6月6日（土）<br>3、森林整備体験活動<br>枝打ち、間伐作業補助及び炭焼き等の体験を通して、森林のあり方・手入れの大切さ・環境保全について学ぶ。<br>実施日：12月28日（木）<br>4、丹沢フォーラム<br>丹沢の抱える問題や、行政事業として実施されている丹沢再生事業地を訪ね担当職員あるいは専門講師を招へいする。<br>実施日4月19日（日）<br>実施日12月23日（水・祝）<br>5、森の学校<br>子供たちに合宿による自然観察や実地体験を通して、楽しみながら自然環境を学んでもらう。<br>夏の学校：実施日 8月12日～15日<br>冬の学校：実施日12月27日～29日<br>春の学校：実施日 3月28日～30日<br>6、丹沢を歩く<br>初心者を対象に鳥・植物・動物の痕跡などの観察をしながら、低山を歩き、自然保護の啓発活動を行う。 |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>7、丹沢を描く<br/> 丹沢の低山を自然観察とスケッチを行う。スケッチを楽しみながら今までとは違う目線で自然を見つめなおす。</p> <p>8、丹沢を歩く<br/> 早春の自然観察会：実施日 2月27日（土）</p> <p>9、関係団体との協働<br/> ボラネットの水質調査に参加<br/> ボラネットのウラジロモミ等防護ネット補修に参加<br/> クリーンピア21の清掃活動に参加</p> |
| 連絡先 | <p>【担当者】酒井明子</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】the_sakais@ybb.ne.jp</p>   |

|      |  |
|------|--|
| 団体名称 | 丹沢ブナ党  |
| 設立目的 | <p>ブナを象徴とする丹沢の自然を守るための実践的な活動に取り組むことを目的とする。</p> <p>【設立年月日】1990年11月3日</p>  |
| 団体情報 | <p>【代表者】梶谷 敏夫</p> <p>【会員数】90名</p> <p>【ホームページ】<a href="http://tanzawabunato.web.fc2.com/">http://tanzawabunato.web.fc2.com/</a></p>   |
| 活動内容 | <p>1. ブナ林健康度調査、方形区調査、健康度調査、ブナハバチ被害状況調査の実施<br/>前年からのひき続きのブナ林健康度調査、方形区調査、健康度調査、ブナハバチ被害状況調査に取り組みました。</p> <p>2. 秦野市峠地区大規模霊園開設計画問題への積極的な対応<br/>前年、開発許可がされ、工事が着々と進められる中、業者側のコンサルが工事計画エリア内でノスリの営巣を確認、こちらも調査し、5月上旬、営巣を確認し、一時工事がストップしました。雛の巣立ちを確認し、工事は再開され、年末には計画エリアは伐採しつくしされ、赤裸の状態を呈しました。</p> <p>3. 里山歩きのほか、自然観察会を開催<br/>里山を歩き、かつての薪炭林を形成していた雑木林が育ち過ぎている状況や、手入れがなされず荒れている里山林を目の当たりにして、ツキノワグマを初めとした野生動物との共生を図る上で、しっかり考えて対策を取る必要を痛感しました。<br/>誰でも参加できる自然観察会を開催し、多くの方の参加を得て、珍しい景観や貴重な自然遺産を目にすることができました。</p> <p>4. ツキノワグマの痕跡調査、餌植物調査の実施<br/>昨年は、ブナやクヌギ、コナラ類の結実もそれなりに確認されましたが、ネクタイ尾根等では、痕跡を確認することができませんでした。</p> <p>5. 丹沢ブナ党シンポジウムを開催<br/>熊踊る森を目指して -クマから丹沢を考える、と題してシンポジウムを開催。金井塚務さん（広島フィールドミュージアム会長）、坂口裕佳さん（神奈川県自然環境保全センター・ワイルドライフレンジャー）、田村淳さん（神奈川県自然環境保全センター・主任研究員）、岡林良一（元津久井町町史自然部会動物調査員）さんらパネリストと、約80名の参加者を得て活発な議論が展開されました。</p> |
| 連絡先  | <p>【担当者】梶谷 敏夫</p> <p>【住所】横浜市港北区箕輪町3-3-8</p> <p>【電話】045-563-3953</p> <p>【FAX】045-563-3953</p> <p>【メール】<a href="mailto:bunato-kazitani@mub.biglobe.ne.jp">bunato-kazitani@mub.biglobe.ne.jp</a></p>  |

|      |  |
|------|--|
| 団体名称 | 西丹沢の自然にふれあう会   |
| 設立目的 | 西丹沢・北丹沢計6箇所の避難小屋およびその往復登山道の清掃活動をするため<br>【設立年月日】2000年6月25日  |
| 団体情報 | 【代表者】多田慎一<br>【会員数】31名<br>【ホームページ】-   |
| 活動内容 | 平成27年の活動概略<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・月一回の例会を計11回実施。内容は3箇所の避難小屋や西丹沢を主とした登山道の清掃活動など(写真は11月例会、ユースンロッジで)<br/>参加者延べ約170人、回収ゴミ25kg強。</li> <li>・他にも会員有志による清掃登山が数回</li> <li>・西丹沢山開きに登山者代表として参加</li> <li>・ボラネット関連では西丹沢学習会への参加、水質検査採水の分担実施など</li> </ul>  |
| 連絡先  | 【担当者】沼野正睦  |
|      | 【住所】   |
|      | 【電話】   |
|      | 【FAX】  |
|      | 【メール】mnumano@jcom.home.ne.jp   |

|      |  |
|------|--|
| 団体名称 | 蛭ヶ岳山荘委員会   |
| 設立目的 | <p>神奈川県より譲渡された、民間経営の山小屋としてお客様が快適に過ごせる山小屋を目指して営業努力している。山岳愛好者を中心とする一般登山者に対して、北丹沢地域の山岳活動に関する事業を行い、もって環境保護・スポーツ振興・災害救助に寄与することを目的とする。</p> <p>【設立年月日】 1998年 4月 1日</p>  |
| 団体情報 | <p>【代表者】杉本 憲昭</p> <p>【会員数】蛭ヶ岳山荘友の会230名（団体会員含む）</p> <p>【ホームページ】<a href="http://kitatan.com/hirutop">http://kitatan.com/hirutop</a></p>  |
| 活動内容 | <p>4月16日 春・夏用の物資荷上げ<br/>北丹沢山開きに合わせ山頂での清掃活動（登山者への呼びかけ）</p> <p>5月 登山道利用実態調査協力、丹沢大山流域の水質調査に協力</p> <p>9月 蛭ヶ岳山頂の土砂流失による埋立ゴミ（缶・ビン等）清掃</p> <p>10月6日 秋・冬用の物資荷上げ</p> <p>11月23日 登山道整備・シカ柵設置工事の為、地元業者の宿泊地及び連絡事務所として協力</p> <p>活動場所 北丹沢山域（特に蛭ヶ岳、神の川乗越、姫次を中心とした地域）</p> <p>蛭ヶ岳山荘友の会会長 太田 顕成</p> |
| 連絡先  | <p>【担当者】杉本 憲昭</p> <p>【住所】相模原市緑区小淵1545-1</p> <p>【電話】042-687-4011</p> <p>【FAX】042-687-3980</p> <p>【メール】kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp</p>   |



|      |   |
|------|---|
| 団体名称 | NPO 法人 野生動物救護獣医師協会神奈川支部 (WRV 神奈川支部)   |
| 設立目的 | 野生動物の救護活動を通じ、神奈川県における自然環境保全に寄与することを目的とする<br>【設立年月日】平成 15 年 7 月 5 日  |
| 団体情報 | 【代表者】馬場国敏<br>【会員数】約 30 名 神奈川県野生動物リハビリテーター認定者：約 100 名<br>【ホームページ】 <a href="http://www.wrv-kanagawa.net/">http://www.wrv-kanagawa.net/</a>  |
| 活動内容 | 丹沢大山の自然環境保全に直接かかわる活動は特にはないが、川崎市にある野生動物ボランティアセンターを中心に県内全域で以下の活動をしています。<br><br>傷病野生動物の救護と野生復帰<br>傷病野生動物の救護に従事できる専門的なボランティア『神奈川県野生動物リハビリテーター』を県の協力を得て養成及び資格認定<br>なお、認定された野生動物リハビリテーターは、上記の野生動物ボランティアセンターの他に県自然環境保全センター、横浜市立動物園(野毛山・金沢・よこはま動物園ズーラシア)及び川崎市立夢見ヶ崎動物公園にて活動<br>大学や専門学校を対象に野生動物リハビリテーター人材の育成のための専門家教育<br>次代を担う子どもたちに生命や自然の大切さ、人と野生動物との共生のための環境教育<br>県民に野生動物救護に対する理解を深めてもらうための普及啓発<br>救護原因の究明や予防対策のための調査研究 |
| 連絡先  | 【担当者】皆川康雄<br>【住 所】川崎市中原区下新城 2-1-28 野生動物ボランティアセンター内<br>【電 話】044-777-8243<br>【F A X】044-777-8368<br>【メール】 <a href="mailto:kanagawa@wrvj.org">kanagawa@wrvj.org</a>  |

|      |   |
|------|---|
| 団体名称 | かながわ野生動物サポートネットワーク  |
| 設立目的 | <p>人間側の都合だけでなく野生動物の側の視点にも立ち、彼らをサポートしたいと設立しました。傷病野生動物、他、さまざまな原因で人間の手の中に入ってくる野生動物を通じ自然環境の保全活動を行なっています。多くの団体、個人とのネットワークを活かし、解決に向けた取り組みと啓発普及活動をしています。神奈川県野生動物救護連絡会（救護連）に参加、WRV 神奈川支部、神奈川県野生動物リハビリテーター、その他有志の方々とも連携し活動を広げています。</p> <p>【設立年月日】平成 10 年 4 月 1 日</p>   |
| 団体情報 | <p>【代表者】葉山 久世</p> <p>【会員数】スタッフ 3 名。</p> <p>【ホームページ】<a href="http://umigome.ezpress.jp/">http://umigome.ezpress.jp/</a><br/>（救護連の活動を掲載、サポートの HP は持っていません）</p>  |
| 活動内容 | <p>かながわ野生動物サポートネットワークとして<br/>野生動物救護に関する相談、アドバイス。<br/>野生動物対策の委員会委員（カワウ、外来生物）</p> <p>カナダガン調査グループのメンバーとして<br/>富士山周辺の野生化カナダガンの野外からの除去（調査、駆除、普及啓発）<br/>国内で確認されていたすべての個体の除去終了（2015 年 12/4）<br/>外来生物法ができてから初の特定外来生物根絶事例（環境省の発表 12/8）<br/>話題提供：第 15 回自然環境シンポジウム「このままでいいのか!! 外来種問題」、<br/>展示：さがみ自然フォーラム 取材；ハフィントンポスト、日本経済新聞</p> <p>神奈川県野生動物救護連絡会のメンバーとして<br/>野鳥への釣り針・釣り糸被害の防止のための活動（調査：多摩川釣り針・釣り糸調査、普及啓発：ジャパンフィッシングショー、展示：さがみ自然フォーラム）<br/>海ゴミによる野生動物への被害（展示・ワークショップ：ズーラシアにて海の動物 SOS! 展 トビ被害（人から食べ物を取る）の防止（調査、防止のための普及啓発：金沢いきいきまつり、藤沢市環境フェアなど）</p> |
| 連絡先  | <p>【担当者】葉山久世</p> <p>【住 所】</p> <p>【電 話】</p> <p>【F A X】</p> <p>【メール】<a href="mailto:pcv@nifty.com">pcv@nifty.com</a></p>  |

|      |   |
|------|---|
| 団体名称 | 町田グラウス山の会   |
| 設立目的 | ハイキング、山岳スキー、自然保護活動などを行う地域山岳会。<br><br>【設立年月日】1984年1月   |
| 団体情報 | 【代表者】千葉 静子<br>【会員数】174名<br>【ホームページ】 <a href="http://machida-grouse.com/">http://machida-grouse.com/</a>   |
| 活動内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹沢だけではなく、国内外の山岳での登山活動。</li> <li>・10月31日(土)に丹沢でのクリーンハイク(清掃登山)。2015年はクリーンピアに協力。4コース37名が参加。可燃ごみ52.1Kg、不燃ごみ116.2Kgを回収。</li> <li>・4月19日(日)、丹沢山開き式への参加と、三ノ塔尾根での植物観察会を実施。</li> <li>・早戸川上流、魚止めの森での植樹活動については、林道の崩落があったために中止。</li> <li>・障害者との交流ハイキングを弘法山で5月24日(日)に計画していたが、前日の天気予報が悪かったために中止。</li> </ul> |
| 連絡先  | 【担当者】安田 優<br>【住所】<br>【電話】<br>【FAX】<br>【メール】m_and_e_yasuda@yahoo.co.jp   |

|      |   |
|------|---|
| 団体名称 | N P O 法人伊勢原森林里山研究会  |
| 設立目的 | 伊勢原市内の森林及び里地の自然環境保全と農林産物の有効活用促進に関する事業を行い、環境の保全を図る<br><br>【設立年月日】 平成 17 年 4 月 6 日（登録年月日）   |
| 団体情報 | 【代表者】山口 寿則<br>【会員数】20 人<br>【ホームページ】 <a href="http://www.iif-isehara.com">http://www.iif-isehara.com</a>   |
| 活動内容 | <p><b>森林保全再生事業</b><br/>石雲寺の森混交林化に向けたパッチ状皆伐・植樹 稚樹保護・軽量堅牢獣害柵敷設による林床植生保護 3 年後の柵開閉によるニホンジカ生息環境づくりを整備し野生動物との共生を探る。</p> <p><b>里地の遊休水田・畑地の保全再生</b><br/>竹堆肥による稲作、雑穀、野菜の固有種育成による地域農業の再生</p> <p><b>調査研究事業</b><br/>植生保護柵開閉によるニホンジカ進入口調査 下層植生の牧養力調査</p> <p><b>農林産物の有効活用と地域再生</b><br/>広葉樹伐採と有効活用による原木キノコ栽培の普及<br/>獣害柵設置による協働の意識を醸成し地域農産品の共同開発</p> <p><b>政策提案</b><br/>東京農大、薬草研究財団、N P O、行政による日向地区における薬草栽培と地域再生の協議会設立準備中 先行して一部試験栽培</p> <p><b>その他の事業</b><br/>都市と中山間地の交流事業( 田んぼの生きもの調べ 植樹祭 彼岸花まつりにおける後方支援 )</p> |
| 連絡先  | <p>【担当者】山口</p> <p>【住 所】伊勢原市伊勢原 1-16-4</p> <p>【電 話】</p> <p>【F A X】</p> <p>【メール】<a href="mailto:info@iif-isehara.com">info@iif-isehara.com</a></p>  |

**森林保全再生事業**

石雲寺の森混交林化に向けたパッチ状皆伐・植樹 稚樹保護・獣害柵敷設 下層植生保護  
ニホンジカ生息環境保護 獣外柵の定期的開閉による野生動物との共生の森をめざします



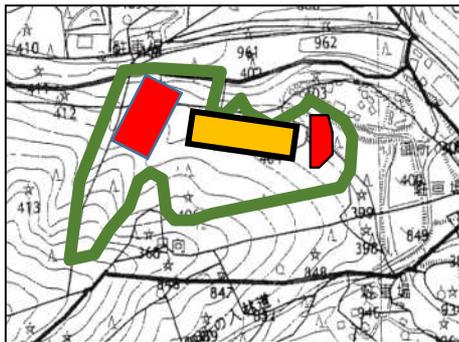
入会1年半の広報担当Yです。  
H27年度の活動をご案内します



調査エリア内のブロック状皆伐と植樹地の植生回復。獣外柵の効果を再確認。



獣外柵を敷設しなかった前年度植樹地の下層植生は貧困。今年度早々に実施。



石雲寺の森2.31ha ■ は活動対象地



今年度計画のアブラチャン群生地



経路敷設 残材処理 植樹。



稚樹生育のため境界のスギ中径木を間伐して光環境を確保



アブラチャン土留柵敷設後現れたタモ、タブノキを皆伐

**里地の遊休水田・畑地の保全再生**



谷戸田の米作り



荒廃農地に大豆播種

**農林産物の有効活用と地域再生**



活動中にエノキ収穫



地域特産品開発で地元支援

**交流事業**



横浜子育てNPO植樹参加



丹沢週末ワークキャンプの味噌作り体験

**調査研究**



ニホンジカ行動調査カメラは今後活躍



田んぼの生き物調べ 新たに22種を同定、計46種 自然度No1

|            |   |
|------------|---|
| 団体名称       | NPO 法人神奈川ウォーター・ネットワーク   |
| 設立目的       | 神奈川県が実施した丹沢大山総合調査に参加した魚類・底生生物ボランティアが中心となって設立した。神奈川県内の生物、とりわけ淡水魚や水生生物とそれを取り巻く環境の保護・保全・調査・研究・啓蒙活動を行うことを目的とした。<br>【設立年月日】平成 18 年 10 月 18 日   |
| 会員構成等      | 【代表者】山崎 泰<br>【会員数】14 名<br>【ホームページ】 -  |
| 27 年度の活動内容 | <p><b>通年</b><br/>県や市町村の機関と協力し、外来移入種の駆除と在来生物の保全活動を実施する。また、シンポジウムの開催や他のシンポジウム・自然観察会への講師の派遣を行う。</p> <p><b>4月～10月</b><br/>神奈川工科大学によって、溪流生物遺伝子解析事業（2014年～2016年）が進められているので、会としては、シロタニガワカゲロウやホトケドジョウの採集や解析で協力している。</p> <p><b>10月</b><br/>2015 年 10 月 11 日（日）山北町H沢において、ヤマメの産卵床の造成を実施した。（9：00～12：00）<br/>（対象）漁協・希望者・神奈川ウォーター・ネットワーク会員など</p> <p><b>2月</b><br/>「第2回市民フォーラム 分布境界線上のヤマメとアマゴ」の開催<br/>（日時）2016 年 2 月 28 日（土）（13：00～16：30）<br/>（会場）神奈川工科大学ITエクステンションセンター<br/>（小田急線本厚木駅徒歩5分）<br/>（内容）<br/>● 亜種とされるヤマメとアマゴはどのようにして分化したのか？<br/>● 降海型と陸封型の生態的多型<br/>● 遺伝子から分かったことと分からないこと<br/>参会者と共に考える場にしたい。<br/>（対象）市民・漁協・町、市、県などの自治体関係・神奈川ウォーター・ネットワーク会員など</p> |
| 連絡先        | <p>【担当者】金子裕明</p> <p>【住所】厚木市旭町 2-12-3</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】neptis1017@gmail.com</p>  |

|      |   |
|------|---|
| 団体名称 | NPO法人丹沢自然学校   |
| 設立目的 | <p>丹沢地域に暮らす人々及び丹沢地域を訪問する人々に対して、相互の交流を促進すると共に、丹沢地域の自然、文化の普及、啓発に関する事業を行い、丹沢地域の自然環境及び地域文化の保護、保全に寄与することを目的とする。</p> <p>2009年4月23日NPO法人として設立(2007年3月3日任意団体として発足)</p>  |
| 団体情報 | <p>【代表者】 理事長 藤田哲男</p> <p>【会員数】 24名</p> <p>【ホームページ】 <a href="http://www.tes21.org">http://www.tes21.org</a></p>  |
| 活動内容 | <p>私たちは西丹沢を中心に、丹沢の自然や文化を体験するエコツアー・プログラムを企画・実施しています。</p> <p>27年度(28年1月末現在)は、33回のエコツアーを実施。例えば、こんなツアーをやっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ山頂に立つだけでなく、丹沢の自然をじっくり体感しながら、自然にもやさしい「登山エコツアー」。檜洞丸、畦ヶ丸、犬越路などを案内しています。</li> <li>・全身に水を浴びて源流の沢をさかのぼる「シャワークライミング」。夏休みの土日限定で実施している、丹沢自然学校で最も人気のあるプログラムです。</li> <li>・「誰も知らない巨木の森」登山地図から消えたマイナーコースをたどり、北丹沢に残された巨木の森を訪ねました。生態学と自然地理学の専門家が同行し、植生調査体験などアカデミックなプログラムにもチャレンジしました。</li> <li>・実は人気が高い、地学をテーマにしたプログラム。丹沢の地質や成り立ちを学びながら、河原で砂金探しにチャレンジする「秘宝探し」。里山散策しながら、ダイナミックに動く大地の証拠を見つけて歩く「地学の時間」などです。</li> </ul> <p>これらのエコツアーは、原則としてガイド1名につき参加者5人以内というガイドレシオをまもり、説明するだけでなく参加者に体験して理解していただくよう、プログラムを工夫しています。</p> <p>また、都市部のレストランカフェで、お茶を飲みながらゲストのお話を聞く「丹沢よろずカフェ」も実施。体を動かすのはちょっと苦手だけど丹沢のことは知りたい、という方に向けた、インドアプログラムです。</p> <p>さらに、ボランティア活動として、西丹沢の登山道の植生の状況を追跡調査する定点撮影、ブナの実生の消長の継続調査、登山道の小規模補修なども行っています。特に27年秋からは、自然環境保全センターの許可を得て、登山道の水切りを直すことで周辺の植生保護につなげる「水切り隊」を、一般の参加者も募って4回開催しました。スタッフも参加者も一緒に汗を流し山に恩返しする活動として、私たちの定番プログラムにしていきたいと考えています。</p> <p>地域への貢献としては、表丹沢まつり、大野山山開き、クリーンハイクへの参加など、丹沢の自然や登山に関わる地域行事に積極的に協力しています。また27年度は、丹沢の緑をはぐくむ集いのボラネット助成金を活用して自動撮影カメラを購入し、地域の子ども会と協働で事務所周辺(上秦野)の哺乳類生息調査も行いました。子どもたちと動物の痕跡を探しながらカメラをセットし、1週間</p> |

後に回収したカメラには、あっと驚く写真が！ 目を輝かせる子どもたちを見ながら、この丹沢の自然をまもるお手伝いをもっともっていきたく、スタッフ一同も、心新たにした瞬間でもありました。

これらの活動を通じ、たくさんの方に丹沢の自然や文化を知っていただき、丹沢の自然のために行動する輪が広がっていくことを願って、私たちは活動しています。



丹沢自然学校名物、夏のシャワークライミング

誰も知らない巨木の森



地域の子どもたちと野生動物調査、自動撮影カメラに写っていたのは・・・!?

連絡先

【担当者】小林 昭五

【住所】

【電話】

【FAX】

【メール】kobayashi42477@nifty.com

|      |  |
|------|--|
| 団体名称 | 特定非営利活動法人 野生動物救護の会   |
| 設立目的 | 野生動物の保護及び救護に関わる活動を通じて、自然環境と生物多様性の保全に貢献することを目的とする。<br>【設立年月日】平成 18 年 10 月 2 日   |
| 団体情報 | 【代表者】渡辺 優子<br>【会員数】約 130 名 小学生から年配者まで幅広い会員<br>【ホームページ】 <a href="http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp">http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp</a>   |
| 活動内容 | 神奈川県自然環境保全センターにおける野生動物救護ボランティアとしての活動をはじめ、イオン・幸せの黄色いレシートキャンペーン展示参加(5月)、平成 27 年度野生動物救護ボランティア講習会開催(6月)、第 5 回夏休み子供体験教室開催(8月)、ワールドフェスタ横浜 2015 展示参加(10月)、あつぎ環境フェア展示参加(10月)、動物フェスティバル神奈川 2015 in はだの～ともに生きる～展示参加(11月)、厚木市立清水小学校児童への環境教育(2月)、神奈川県立自然環境保全センター委託事業「猛禽補保護プロジェクト」、「足環プロジェクト」(通年)、「秦野市立図書館衝突調査」(通年)など |
| 連絡先  | 【担当者】渡辺 優子<br>【住 所】神奈川県秦野市戸川 1086-4<br>【電 話】0463-75-1830<br>【F A X】<br>【メー ル】wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp  |



|      |   |
|------|---|
| 団体名称 | 特定非営利活動法人 足柄丹沢の郷ネットワーク  |
| 設立目的 | この法人は、広く一般の市民に対して、神奈川県足柄上地域・西丹沢の地域間連携による共生型の市民ネットワーク社会の構築と地域にある豊富な資源を活用した都市と農山村間の交流や学び、体験などの多様なカリキュラムやプログラムを通じて、人と地域が共に学び、共に生き、共に発展（繁栄）していくための持続可能な仕組みづくりを目指し、地域や山里の歴史や自然、暮らしや文化などの叡智に対する認識と継承を行い、環境、教育、社会福祉、青少年の健全育成などの分野の向上に寄与することを目的とする。<br>【設立年月日】平成 23 年 6 月 7 日 |
| 団体情報 | 【代表者】福島 実<br>【会員数】12 名<br>【ホームページ】 <a href="http://ashitan.jimdo.com">http://ashitan.jimdo.com</a>  |
| 活動内容 | ( 1 ) 足柄キントロウ学校事業活動<br>(平成 25 年度、26 年度、27 年度子どもゆめ基金採択事業)<br>( 2 ) 森林ボランティア活動<br>森林ボランティア養成プログラムと都市住民との協働の森林づくり事業 (平成 26 年度緑の募金事業) / 活動場所：山北町三保地区<br>水源の森のカルテづくり (森の健康診断) 事業活動<br>( 3 ) あしがらミツバチプロジェクト (再始動)   |
| 連絡先  | 【担当者】福島 実<br>【住 所】<br>【電 話】080-6106-0974<br>【F A X】<br>【メール】 <a href="mailto:m.fukushima@sea.plala.or.jp">m.fukushima@sea.plala.or.jp</a>   |



|      |  |
|------|--|
| 団体名称 | 湘南自然観察クラブ  |
| 設立目的 | 自然観察を通して環境保全をめざしたい<br>[設立年月日]平成22年12月  |
| 団体情報 | [代表者]田中 幸雄<br>[会員数] 9名<br>[ホームページ] -   |
| 活動内容 | 月1回<br>県央・湘南・西湘・横浜地区をベースにいろいろな方との交流を兼ねて動植物の観察会を行っています。<br><br>自然保全センターにおいてミニ観察会の実施 |
| 連絡先  | 【担当者】石山 浩恵   |
|      | 【住 所】  |
|      | 【電 話】045-301-9617  |
|      | 【FAX】同 上   |
|      | 【メール】stone-mountain@jcom.home.ne.jp  |

|      |   |
|------|---|
| 団体名称 | 伊勢原の自然と環境を守る会   |
| 設立目的 | 伊勢原の自然と環境を破壊から守り、自然と共生する生活を模索することで、大量生産・大量消費社会を超えた、新たな持続可能な循環型社会を実現する。<br>【設立年月日】1993年7月1日  |
| 団体情報 | 【代表者】北山 宏之<br>【会員数】70名<br>【ホームページ】 <a href="http://www.geocities.jp/iseharakankyou/">http://www.geocities.jp/iseharakankyou/</a>  |
| 活動内容 | <p>活動の柱（地域の環境保全活動全般）</p> <p>1）オオタカの調査、保護 2）大気汚染調査 3）環境保全型農法の研究<br/>4）第2東名、246バイパスへの対応、5）農作物などに含まれる放射線量の測定</p> <p>活動詳細</p> <p>1 第11回いせはら環境展の開催（エコネットに協力）<br/>日時：5月10日（土）11日（日）会場：伊勢原総合運動公園体育館（公園緑花まつりと同時開催）<br/>内容：パネル展示・実演及びその内容を題材にしたクイズラリーなどを実施し、環境保全に関する普及啓発を実施<br/>来場者：1,868人 クイズラリー参加者：595人</p> <p>2 エコネットストップ温暖化展に協力<br/>日時：11月15日（土）会場：協同病院駐車場<br/>内容：温暖化防止のための取組を展示等による普及啓発<br/>エコカフェ（薪ストーブ、フェアトレードコーヒー試飲、パネル展示・実演等） 会として薪ストーブの実演を行った。<br/>来場者：2,000人</p> <p>3 先進事例等の視察研修会の実施（エコネットに協力）<br/>期 日：8月27日（水） 視察先：カフェスロー（国分寺市）<br/>相模原市立環境情報センター（相模原市）<br/>内 容：前年度に実施した講演会講師が経営するエコライフを实践する店舗と、近隣市の環境対策の取り組みを視察、研修<br/>参加者：20名</p> |
| 連絡先  | <p>【担当者】北山 宏之</p> <p>【住 所】伊勢原市三ノ宮1777-7</p> <p>【電 話】0463-91-2334</p> <p>【F A X】</p> <p>【メール】kitayama-hiro@kfx.biglobe.ne.jp</p>   |

# 世話人会の活動報告

## 平成 27 年度世話人会の活動報告

### 1 世話人会の開催

#### ( 1 ) 第 1 回

実施日 平成 27 年 6 月 3 日 ( 水 )  
場 所 あつぎ市民交流プラザ  
出席者 5 名  
内 容 丹沢大山登山環境意識調査 講演会 夏休み親子自然探検隊  
瓦版の発行

#### ( 2 ) 第 2 回

実施日 平成 27 年 9 月 2 日 ( 水 )  
場 所 あつぎ市民交流プラザ  
出席者 4 名  
内 容 外来種駆除活動

#### ( 3 ) 第 3 回

実施日 平成 27 年 12 月 2 日 ( 水 )  
場 所 あつぎ市民交流プラザ  
出席者 4 名  
内 容 世話人の改選 平成 28 年度事業計画

#### ( 4 ) 第 4 回

実施日 平成 28 年 3 月 2 日 ( 水 )  
場 所 あつぎ市民交流プラザ  
出席者 4 名  
内 容 世話人の改選 平成 28 年度総会の役割分担と事業計画

### 2 関係団体との協働

丹沢大山ボランティアネットワークから、世話人代表が各委員会へ出席

#### ( 1 ) 緑を育む集い実行委員会

日時 平成 27 年 4 月 24 日 ( 金 )  
会場 自然環境保全センター  
内容 平成 26 年度事業報告・決算報告について  
平成 27 年度事業計画・予算 ( 案 ) について

#### ( 2 ) 丹沢大山自然再生委員会

・第21回普及啓発検討部会

日時 平成27年4月23日(木)

会場 万国橋会議センター

内容 平成27年度県民事業専門部会事業計画案・予算案及び活動内容についての確認  
平成27年度県民事業専門部会の進め方について  
地球環境イベントアジェンダの日2015について  
その他

・第15回丹沢大山自然再生委員会(平成27年度総会)

日時 平成27年7月13日(月)

会場 中小企業共済会館

内容 平成26年度事業実績・決算について  
役員の改選について  
平成27年度事業計画・予算(案)について  
調査・研究助成金交付規程の改正について  
専門部会の報告・提案について  
平成26年度丹沢大山自然再生活動報告会実施結果

・第22回幹事会(平成27年度第1回丹沢大山自然再生活動報告会実行委員会)

日時 平成27年8月13日(木)

会場 かながわ県民活動サポートセンター

内容 平成27年度丹沢大山自然再生活動報告会について

・第22回普及啓発検討部会

日時 平成27年8月27日(木)

会場 かながわ県民センター

内容 地球環境イベントアジェンダの日2015実施結果報告  
ワールドフェスタ・ヨコハマ2015について  
再生委員会パンフレットのリニューアルについて  
平成27年度丹沢大山自然再生活動報告会について  
再生委員会と学校教育との関わり方について  
グーグルアドワーズ実施状況報告  
その他

# 丹沢大山ボランティアネットワーク会則

## (名 称)

第1条 本組織は、丹沢大山ボランティアネットワーク(以下「ネットワーク」という。)と称する。

## (目 的)

第2条 ネットワークは、丹沢大山で自然環境に関する活動を実践しているボランティア団体の自主的な連携を図り、行政とのパートナーシップのもとで丹沢大山の自然環境の保全に関する活動の推進を図ることを目的とする。

## (会 員)

第3条 会員は目的に賛同するボランティア団体により構成する。

2 入会及び退会は、所定の書面による届け出とする。

## (活動内容)

第4条 ネットワークは、次の活動を行う。

- (1) ネットワークづくりの推進に必要な活動の実施
- (2) 会員への情報提供および会員相互の情報交換の推進
- (3) その他、ネットワークの目的に合致する活動

## (世話人会)

第5条 ネットワークの運営のため、世話人会を設ける。

2 世話人は総会によって選出し、5名程度とする。

3 世話人会に代表1名と、副代表1名を置き、選出された構成員の中から互選により定める。

4 世話人会は代表が招集し、議長となる。

5 副代表は代表を補佐し、代表に事故ある時は、その職務を代行する。

6 世話人の任期は2年とする。ただし、再選は妨げない。

7 世話人会は、必要に応じ開催する。

## (世話人会の職務)

第6条 世話人会は次の事項を行う。

- (1) 会員間の連携の推進に必要な連絡、調整
- (2) 各種情報の収集、分析
- (3) 行政とのパートナーシップの推進のため必要な神奈川県自然環境保全センターとの協議
- (4) 総会に付議する議案に関すること。
- (5) その他、ネットワークの運営のため必要な事項

## (総会)

第7条 総会は、世話人会代表が召集する。

2 総会は、年1回以上開催する。

- 3 議事は、出席者の過半数をもって決定する。
- 4 議決権は1団体で1票とする。

(事業年度)

第8条 事業年度は、4月1日から翌年3月31日迄とする。

(会費)

第9条 会費は毎年4月1日から翌年3月31日迄の1年間とし、年間2,000円とする。

(庶務)

第10条 丹沢大山ボランティアネットワークの必要とする費用は、会費および助成金、その他の収入をもってこれに充当する。

- 2 会計担当者を2名以内置く。
- 3 監事を2名置き、会務および会計を監査する。
- 4 ネットワークの庶務は、当分の間、神奈川県自然環境保全センターが協力して行う。

(その他)

第11条 この会則に定めるものの他、ネットワークの運営に必要な事項は、世話人会で協議して定める。

- 附 則
- 1 この会則は、平成14年8月4日から施行する。
  - 2 この会則は、平成15年4月5日から施行する。
  - 3 この会則は、平成19年4月8日から施行する。
  - 4 この会則は、平成20年4月6日から施行する。

# 丹沢大山ボランティアネットワーク入会届

平成 年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク  
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークに入会しますので、入会届を提出します。

団 体 名  
住 所 〒  
代表者 氏名  
" 住所 〒  
担当者 氏名  
(連絡先) 住所 〒  
" 電話  
" ファックス  
" E-mail

## 団体の概要記入欄

|               |   |
|---------------|---|
| 設立時期          |   |
| 会員数           |   |
| 会報            | あり(名称: ) なし   |
| ホームページ        | あり(アドレス: ) なし   |
| 保全活動に関するキーワード | 美化活動<br>植樹、森林の育成<br>調査(内容: )<br>普及啓発(内容: )<br>その他(内容: ) |
| 活動の概要         | 主な活動地域( )   |
| 自由記載欄         |   |
| 連絡方法          | 郵送 電話 ファックス E-mail                                      |

- 注 1 該当する にチェックをしてください。  
2 内容については、丹沢大山保全活動ホームページに掲載します。

# 丹沢大山ボランティアネットワーク退会届

平成 年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク  
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークを退会しますので、退会届を提出します。

|        |
|--------|
| 団 体 名  |
| 住 所    |
| 代表者 氏名 |
| ” 住所   |

退会理由：

編集・発行

神奈川県自然環境保全センター

厚木市七沢 6 5 7

電話 046-248-0323